

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・ホテルやパチンコ店が近隣にできたので、来客数も客単価も増加傾向である。
		観光型ホテル（総支配人）	・予約状況が前年同月比で5%程度増加している。沖縄旅行を促進する航空会社及び旅行会社の動きが例年より活発で、集客が期待できる。
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・8～12月期間平均での売上高は前年比で15%減少している。今後も現状の商材でのビジネスなら減少傾向は変わらない。客のニーズが今年度から変わってきているので、新規ビジネス商材の開発が必要である。
		スーパー（経営者）	・年末商戦に突入し、先月同様チラシ販促の強化を図った結果、売上、来客数共に増加している。ただし、収益的にはやはりかなり厳しい状況である。
		コンビニ（エリア担当）	・年末商戦の冷え込みや元日営業店舗の増加で今後も来客数の減少は続く。また、プラスアルファの買物をしない傾向もあり、この先も続く。客の様子を見る限り、景気回復の兆しは沖縄にはまだ無い。
		衣料品専門店（経営者）	・この数か月の売上等を前年同時期と比較すると、全体としてはさほど変わらない。ただし、購買意欲のある客と無い客の差がはっきりしている。
		高級レストラン（営業担当）	・2006年に入ってからは良い意味でも悪い意味でも、事前予約状況から予測した見込みを裏切るケースが続いている。2～3か月後の見込みは現段階では好調だが、過去数か月をみると安心はできない。理由として沖縄観光の個人型化がさらに進んでいることが挙げられる。
		観光名所（職員）	・沖縄への入域観光客は前年を大幅に上回る見込みである。これから先も大きな変化要因は無く、入域観光客は暖かい沖縄と沖縄ブームに支えられ順調に推移する。
	やや悪くなる	百貨店（担当者）	・12月は歳暮ギフトを始め食品部門は伸長しているが、暖冬傾向により防寒衣料を中心に苦戦している。今後もこの傾向が収まらなければ景気動向は悪化する。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・地元の客が少ない。観光客もリピーターの増加と競争相手の増加で厳しい。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・平日に地元客が飲食を控える傾向は続くので、週末だけで平日の不足分を補うことができない。
		観光型ホテル（営業担当）	・4月より航空運賃の値上げが予定されており、旅行料金に反映されその影響が懸念される。
	悪くなる	商店街（代表者）	・観光客はいるが、地元客は郊外店へ流れている。郊外には大型店もできていて、客割れ状態が起きている。安売り勝負になっているので、どうしても郊外店の大きい駐車場を構えたところに客が持っていかれる。売上も一時期に比べれば激減しており、一進三退ぐらいの状況である。大変な危機感がある。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・現在の引き合い件数は増加している。2～3か月先の受注が見込まれる。
		コピー業（代表者）	・印刷業界は、毎年仕事が減っていく。これからは、紙媒体だけでやっていくことは難しいが、ITを駆使した情報関係にもっと力を入れつつあるので業界は活性化されていく。
	変わらない	輸送業（営業・運営担当）	・年度末あるいは新年度に向けて契約の見直し又は新規業務の獲得と営業的には忙しくなるが、同業種間における業務の移動にしかならず、運輸業界自体の内容は変わらない。
		通信業（営業担当）	・当分現状のまま推移する。景気回復感を感じられない。
		広告代理店（営業担当）	・首都圏を中心とする大手企業から県内マスメディアへの受注量が増加傾向にあるなかで、これまでの経験から3～4か月後に県内企業が後追的に増加傾向へ進行すると想定できる。したがって、この先2～3か月間は、さほど大きな増加は見込めない。
	やや悪くなる	食料品生産業（管理部門）	・食肉加工業を取り巻く外的経営環境は厳しいままである。
悪くなる	-	-	
雇用	良くなる	-	-

関連	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣終了予定が契約更新になるケースや月の途中からではなく月の頭からの新規派遣が増えるケースが増え、稼働率、売上の増加が見込める。また、官公庁のアウトソーシングも少しずつ進んできているので、営業を強化することで増加が図れる。ただ、相変わらず人材不足の状況があるため、需要に追いつけないのが大きな課題である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・年末のボーナスでも過去最高という結果が出ているように、各企業とも業績回復が明確に出てきた感がある。年も変わることで期待感もあり、消費動向が活発化する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・採用に関する動きが沈滞化している状況ではなく、新卒と第二新卒、そして経験を積んだベテランをバランス良く採用していこうという戦略がうかがえる。したがって、求人での積極的な採用は依然として続いている。今後の強気な経営方針の表れであると解釈できる。
	変わらない	-	-
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	